

東証スタンダード
(証券コード：6524)

個人投資家向け会社説明会

湖北工業株式会社  KOHOKU

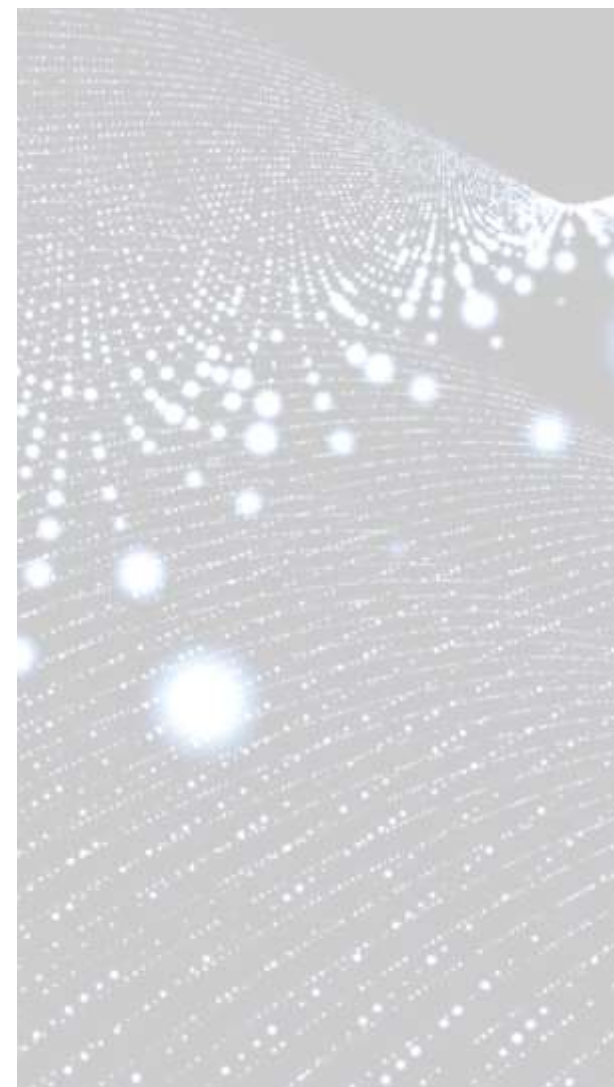
2022年12月15日

世界に誇れる、ものづくり

湖北工業はアルミ電解コンデンサ用リード端子と海底光通信用部品のリーディングカンパニーです。

I. 湖北工業の強みと成長性 P. 2

II. ニュース&トピックス P.21



I. 湖北工業の強みと成長性

グローバル

海外売上高比率： **65%**

ニッチトップ

リード端子(金額ベース)
世界シェア： **60%**

車載向けリード端子(金額ベース)
世界シェア： **95%**

光アイソレータ(金額ベース)
世界シェア： **50%**

高収益

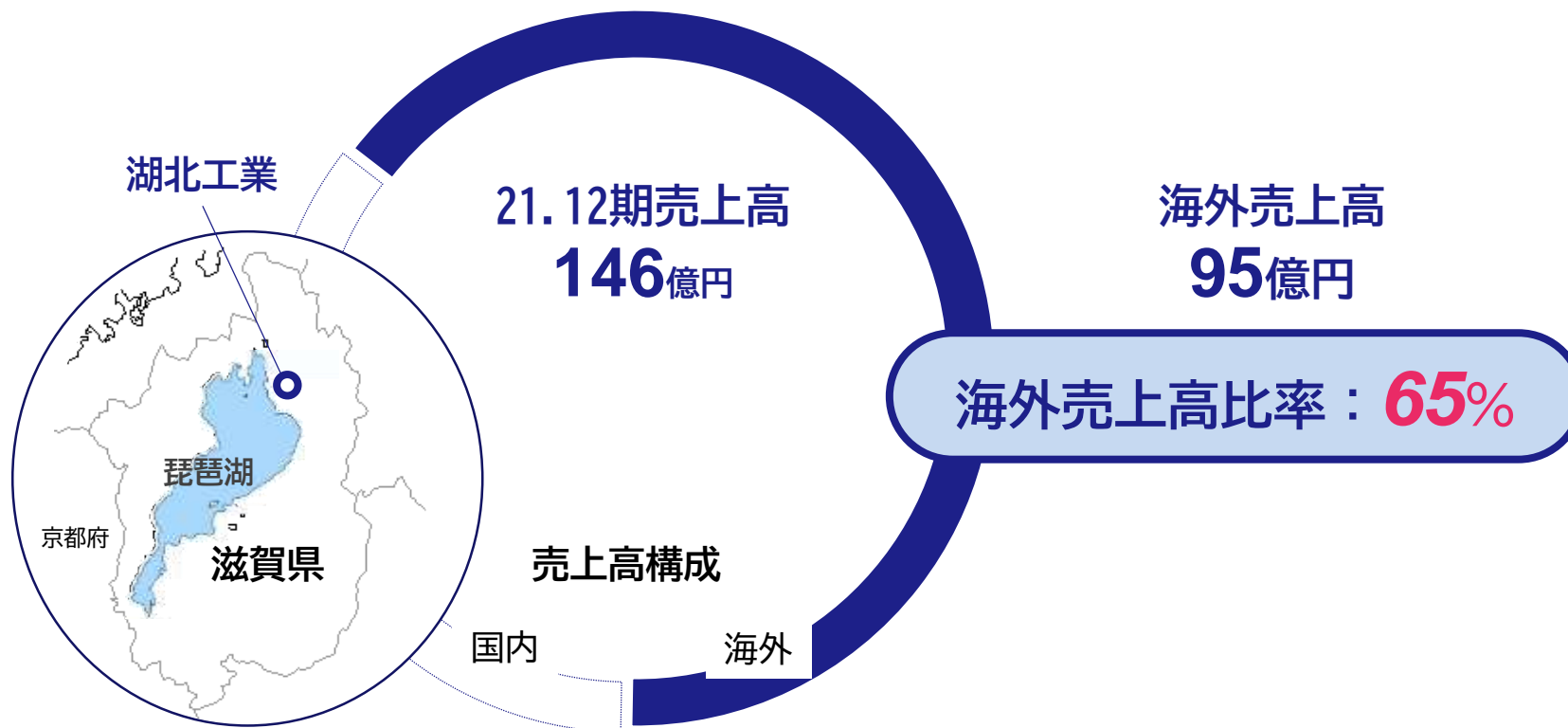
売上高営業利益率： **28.2%**

高成長

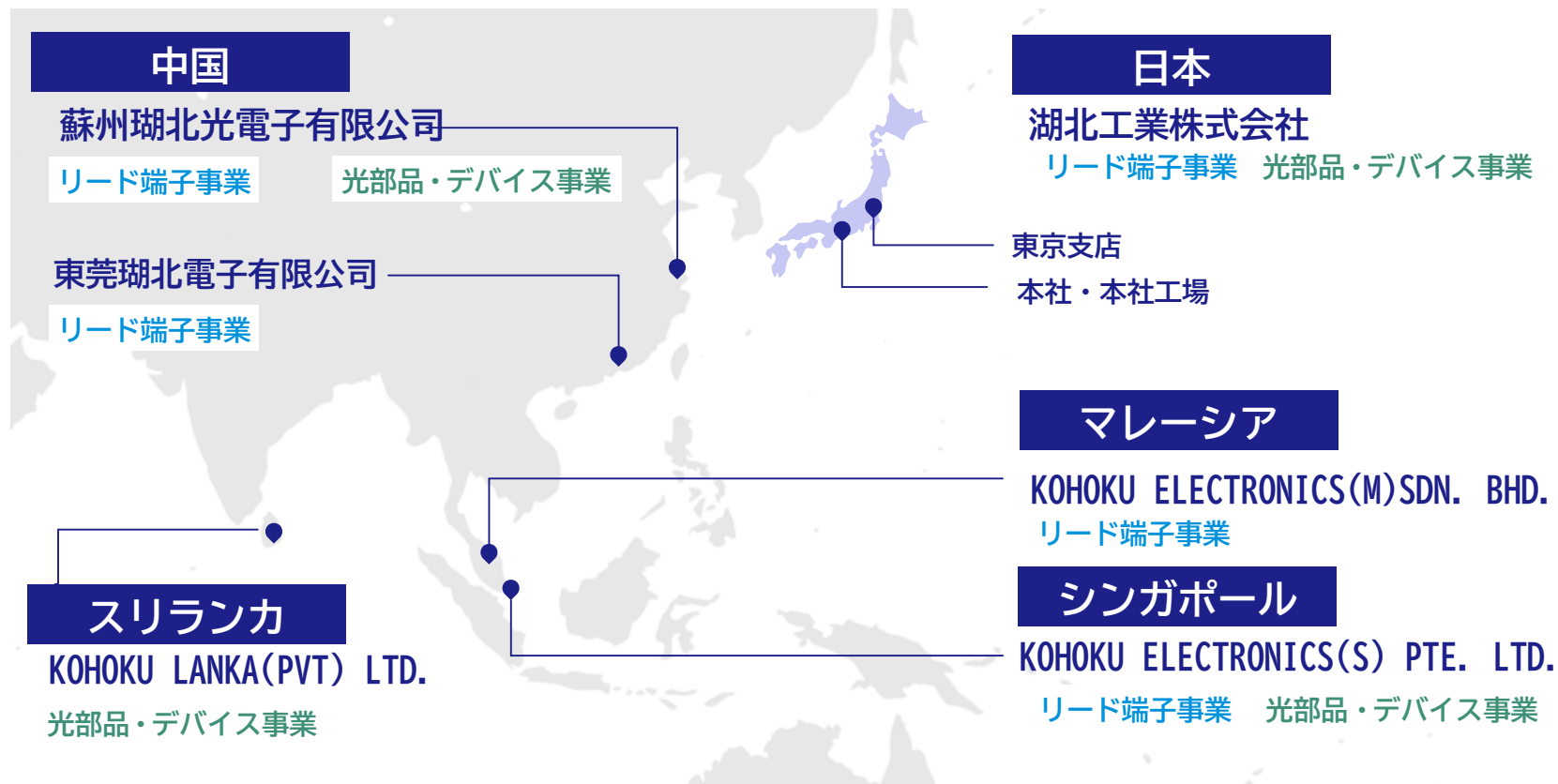
売上高 (過去2期) **1.5倍**

営業利益 (過去2期) : **2.8倍**

滋賀県から発し、グローバルに展開するデバイスメーカー



5か国7拠点から全世界に向けて展開



自動車とネットワーク機器、海底ケーブルに欠かせない製品群を手掛ける

リード端子事業

アルミ電解コンデンサ用リード端子



世界シェア **60%**以上

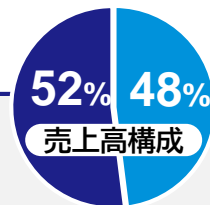
自動車&ネットワーク産業の技術革新



車載



基地局



主要製品

市場シェア

用途・貢献分野

光部品・デバイス事業

海底光ファイバ通信ケーブル用デバイス



(光アイソレータ)

世界シェア **50%**以上

通信の大容量化

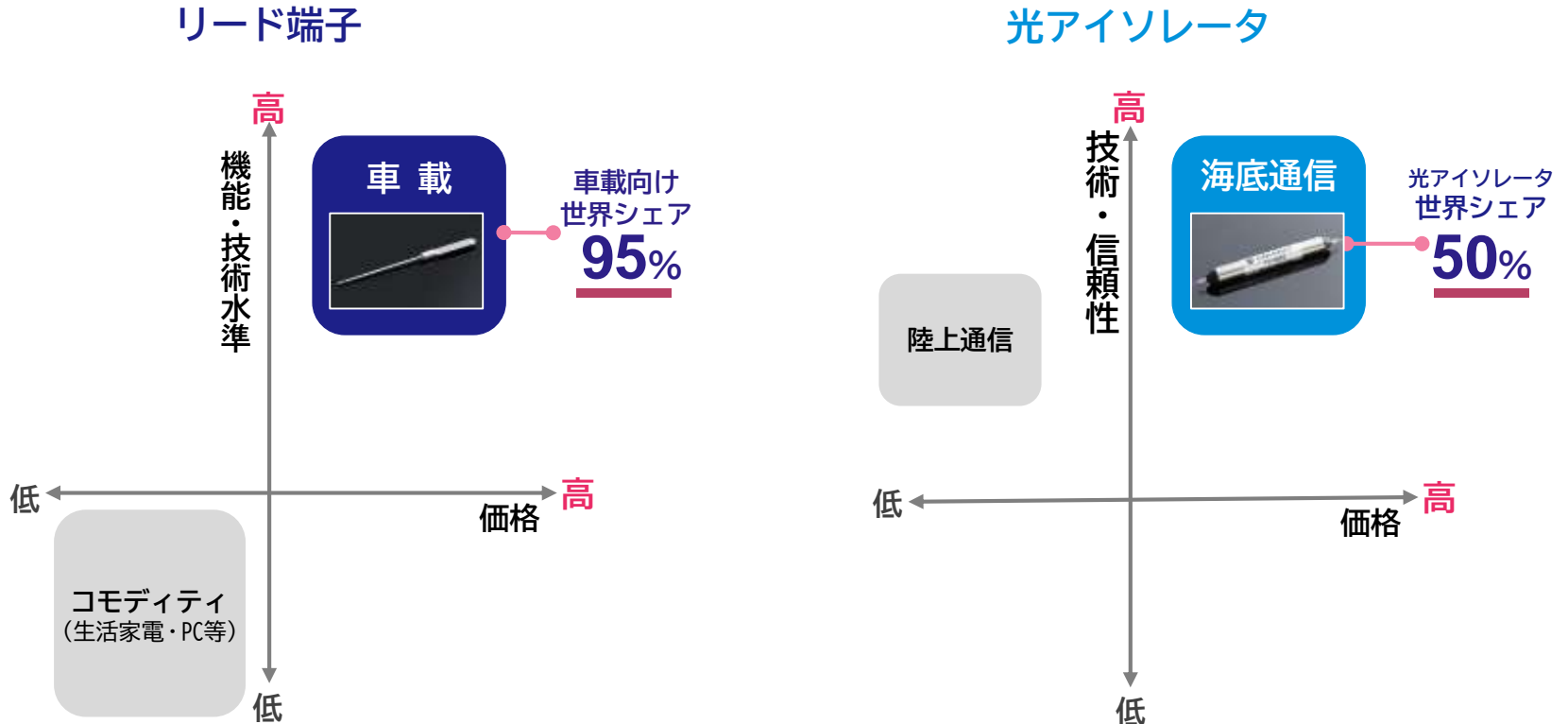


5G

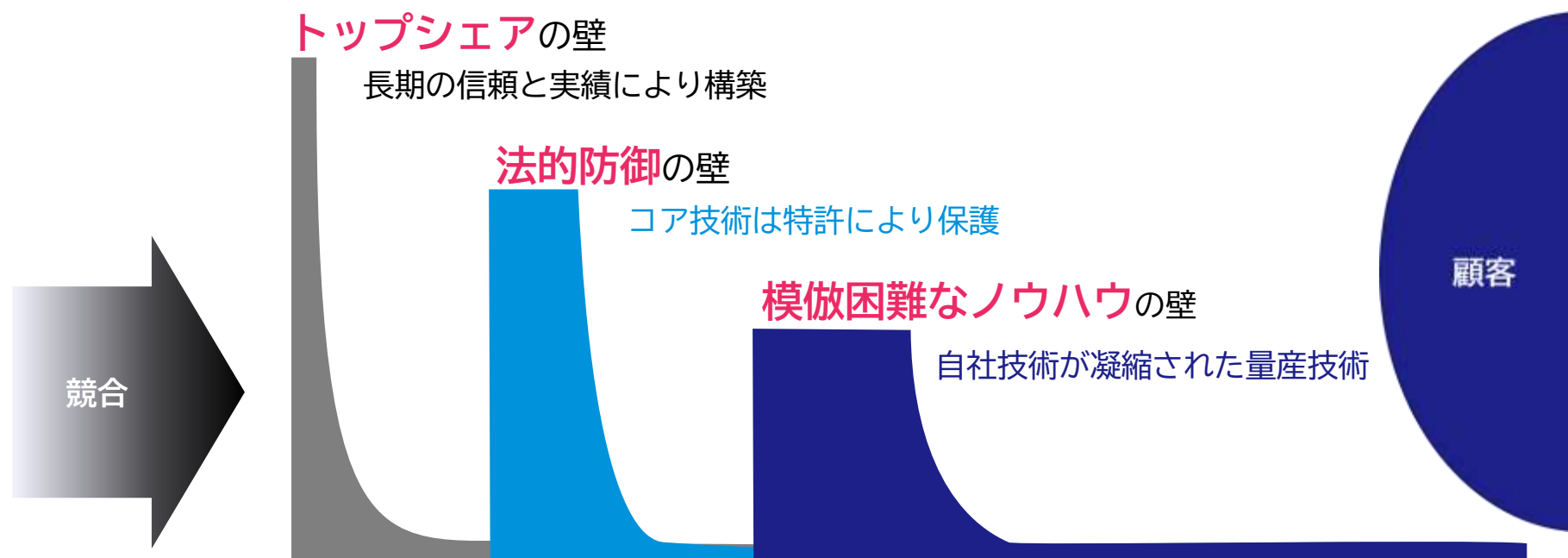


IoT

高付加価値品に特化し、高い競争力により世界トップシェアを確立



コア技術を核に三重の参入障壁を構築



自社開発の製造装置で、唯一無二の一貫生産ラインを構築

模倣困難なノウハウの壁

コア技術

製造装置の全てを自社開発し、コア技術の掛け算により一貫生産ラインを構築



自社開発の電源

溶接温度は2,000°C、1秒間に5本の高速溶接を実現

超ハイスピード生産

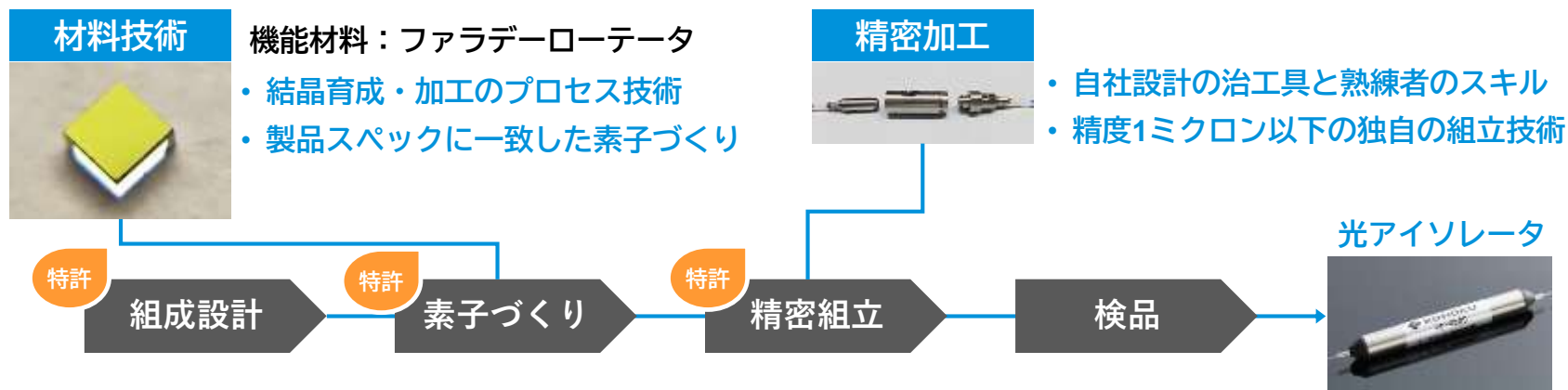
1秒間に5個

法的防御の壁

コア技術は特許により保護 特許

製品性能を決定づける機能材を自社生産する、唯一のメーカー

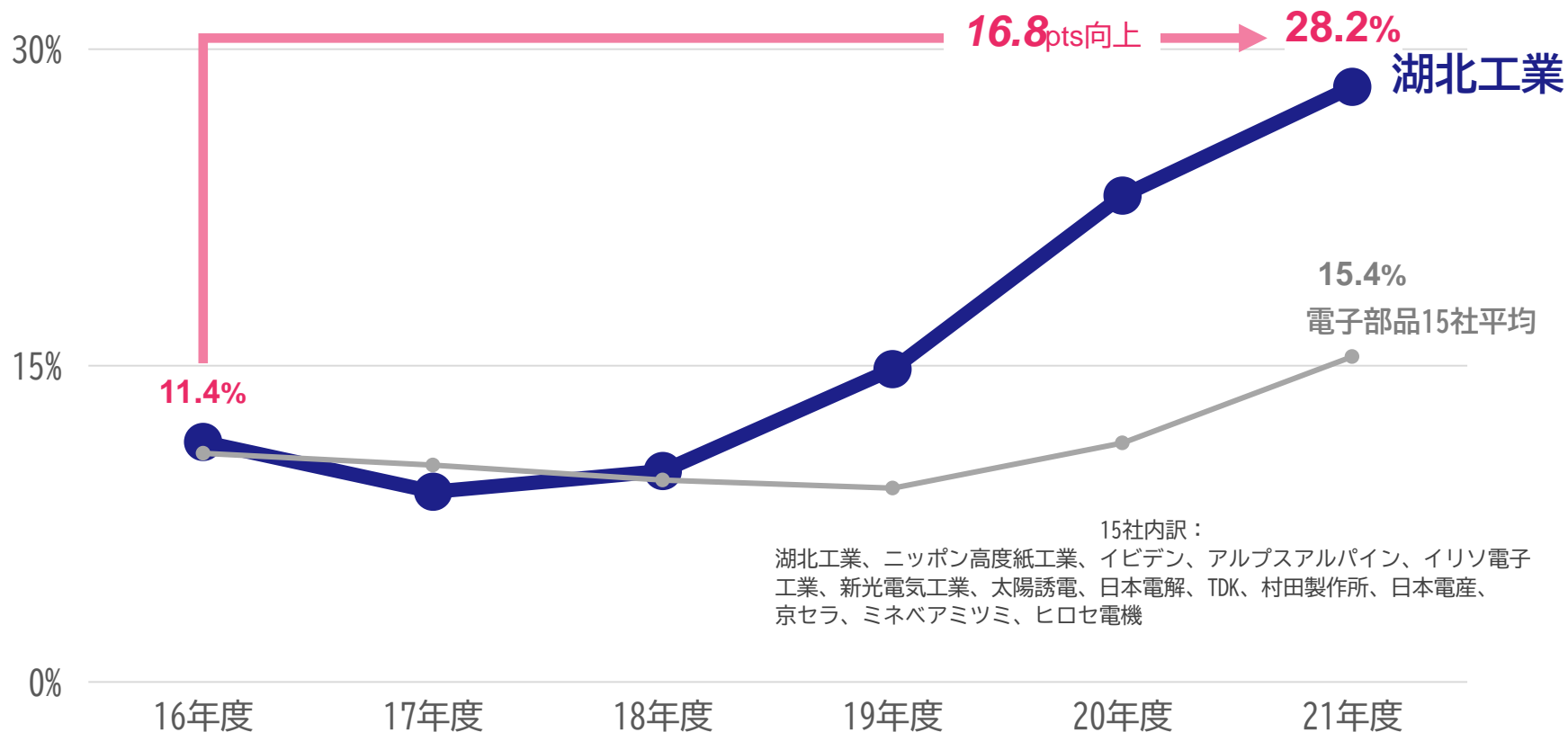
模倣困難なノウハウの壁 一貫生産の鍵となる、材料技術と精密加工が生み出す高信頼性



法的防御の壁 コア技術は特許により保護 **特許**

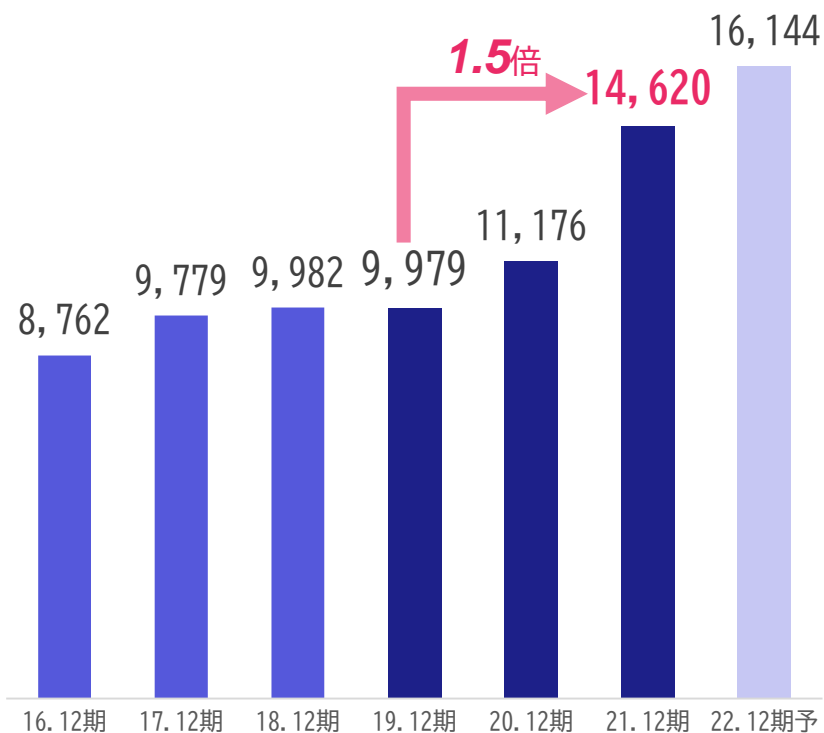
電子部品業界の平均を上回る高い収益率を実現

営業利益率の比較

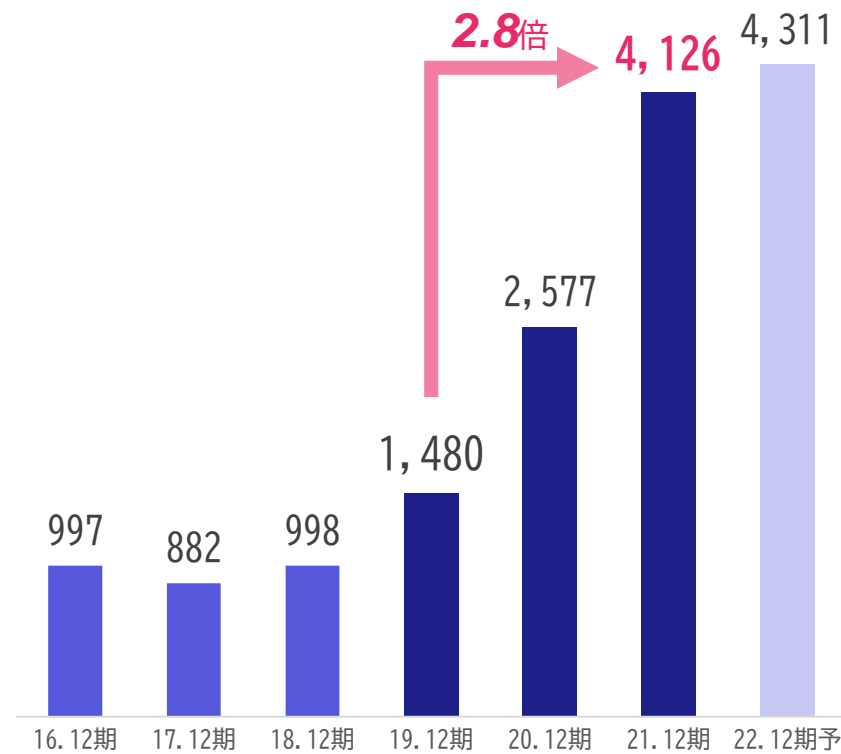


過去2期で売上高1.5倍、営業利益は2.8倍と急成長

連結売上高 (百万円)



連結営業利益 (百万円)

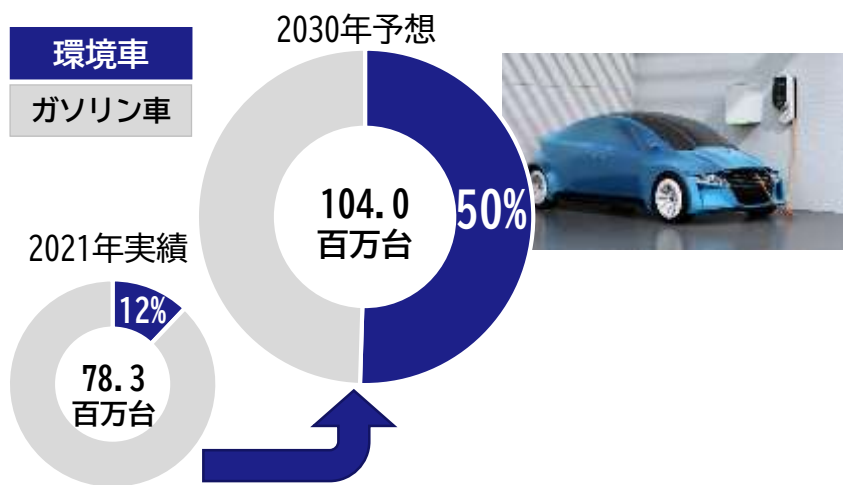


*百万円未満切り捨て
*2018年12月期以前の数値については、監査法人による監査を受けておりません。

EVとメタバースによる大きな追い風を受け、力強い成長が見込まれる

リード端子事業

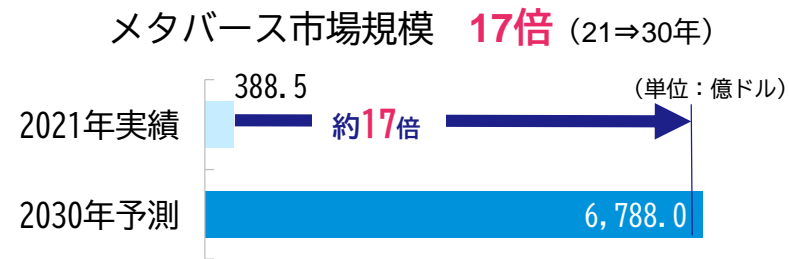
EVシフトの追い風



出所) 富士キメラ総研「アルミ電解コンデンサ ハイブリッドタイプ市場に関する調査 2022」

光部品・デバイス事業

メタバースの追い風



出所) Statista (Grand View Research)



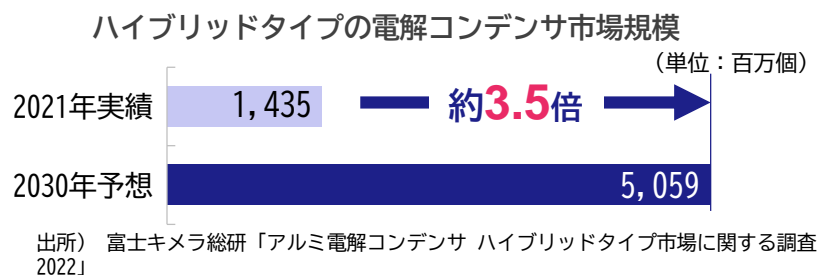
5G



IoT

拡大する市場向けに製品の開発・販売を強化

車載×EV 市場規模は、約3.5倍に拡大



車載向け技術商品の販売強化

車載用製品の付加価値向上及び販売強化

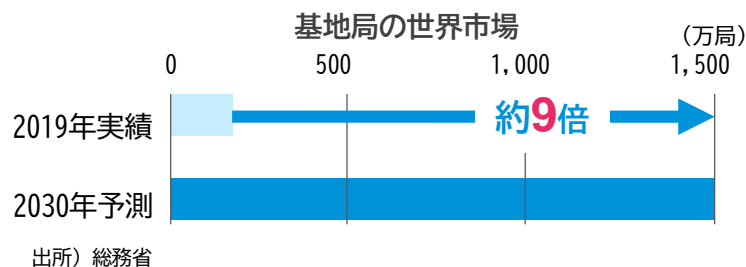
振動対策、漏れ電流低減対策、ウィスカ対策、EDLC用途、大容量化対応



EV向け主力製品

リチウムイオンキャパシタ(LiC)向け

基地局 市場規模は、約9倍に拡大

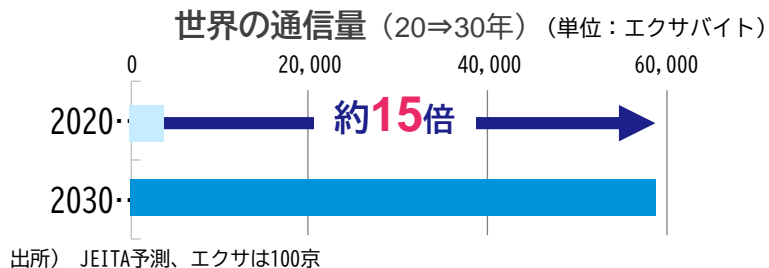


通信基地局向け ICT分野の販売強化

5G通信基地局向け・パソコン・チャージャー向け
電気特性向上技術商品 (銅線リード端子等)

競争優位性と収益拡大の鍵は多芯化

データ通信量の拡大



長距離海底ケーブルプロジェクト

太平洋横断プロジェクトの発表が相次ぐ

名称	RFS	オーナー	多芯化 (FP)	距離
Topaz	2023年	Google	16	10,000 km
JUNO	2024年	Seren Juno Network (NTT、三井物産他)	24	10,000 km

出所) TeLegeography

光アイソレータの需要

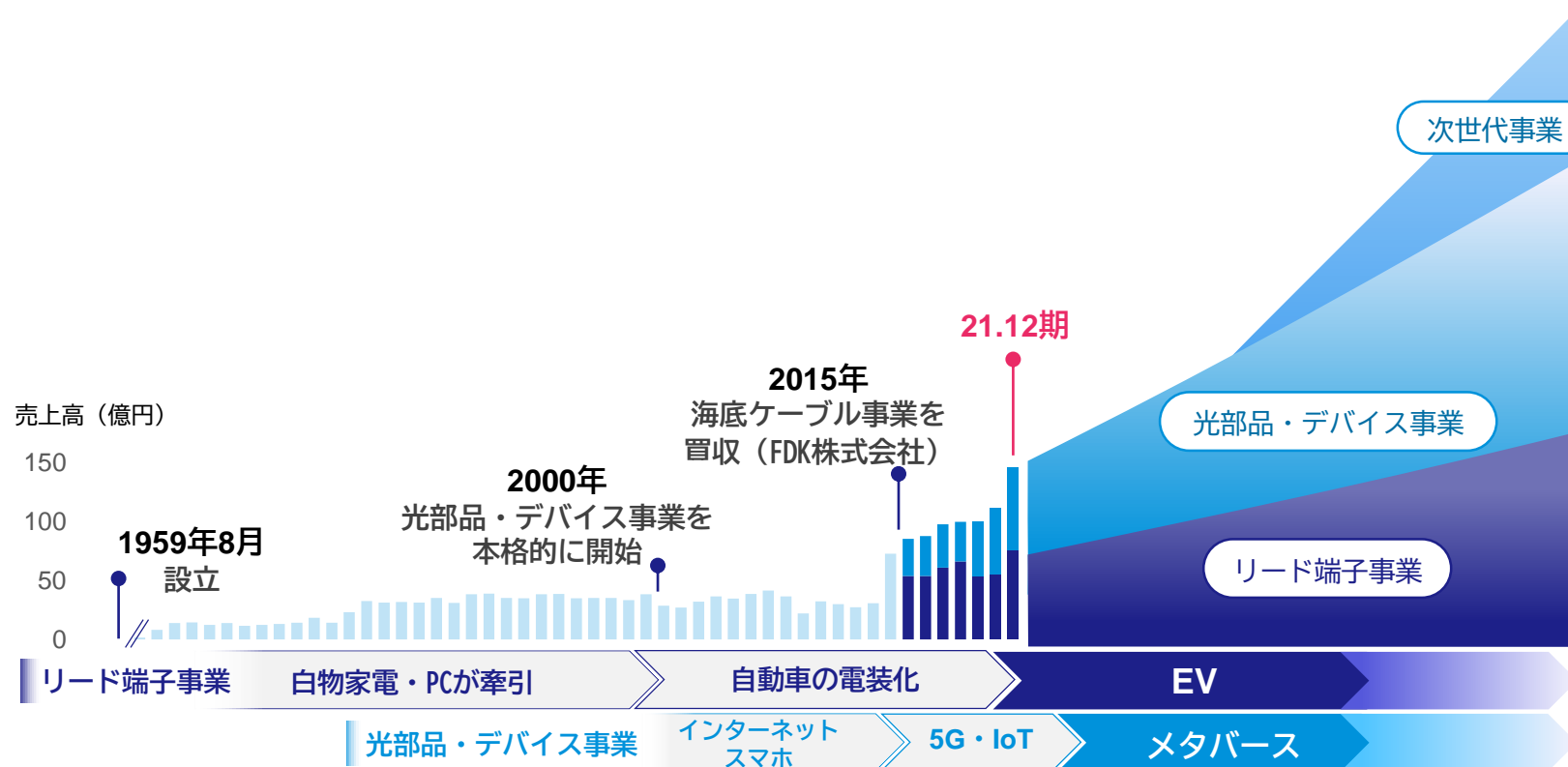
$$\text{大容量化} = \text{多芯化} \times \text{ケーブル増 (新設 + 更新)} = \text{光アイソレータ数量増}$$

光ファイバペア (FP) 数の増加



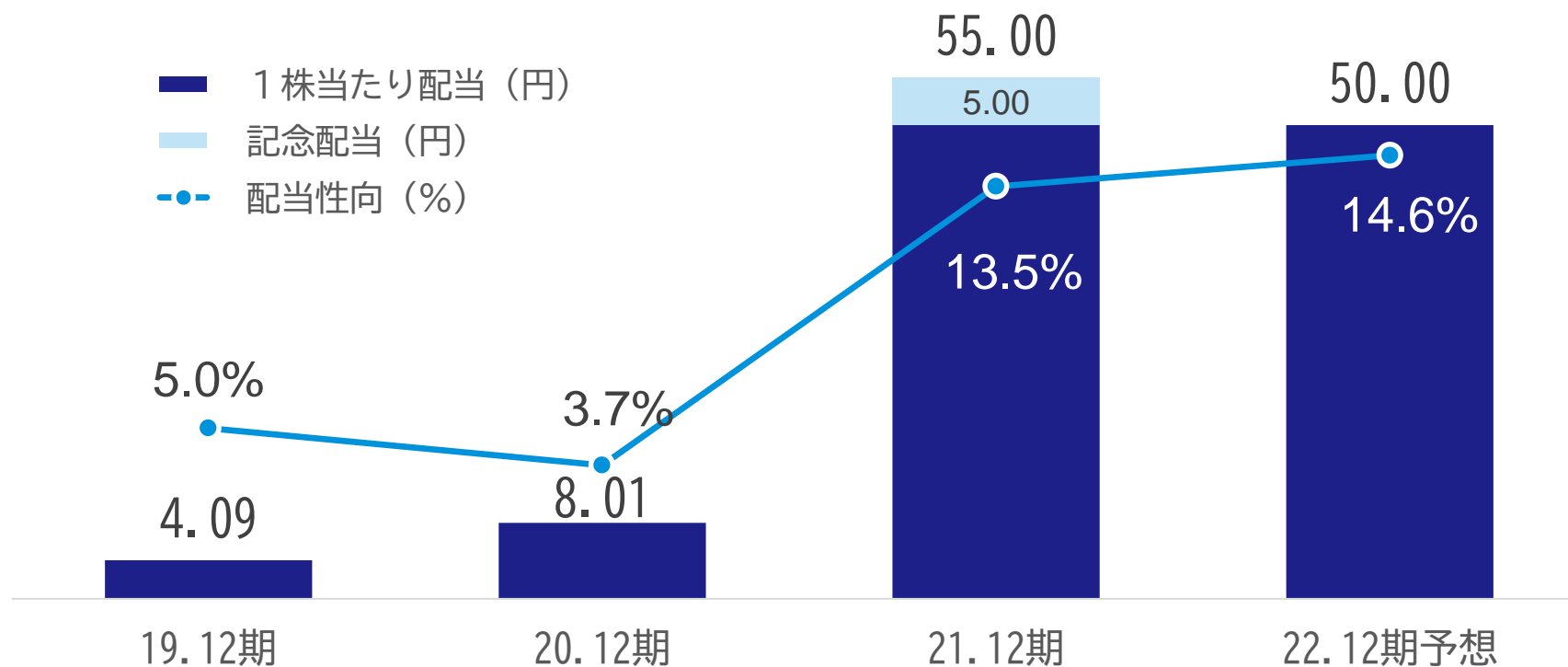
今後の成長イメージ

高収益を維持しながら、市場の追い風を受けた高成長を目指す



成長市場への積極投資による事業の拡大と株主還元策を
総合的に勘案、株主価値の向上を目指します

配当金／配当性向の推移



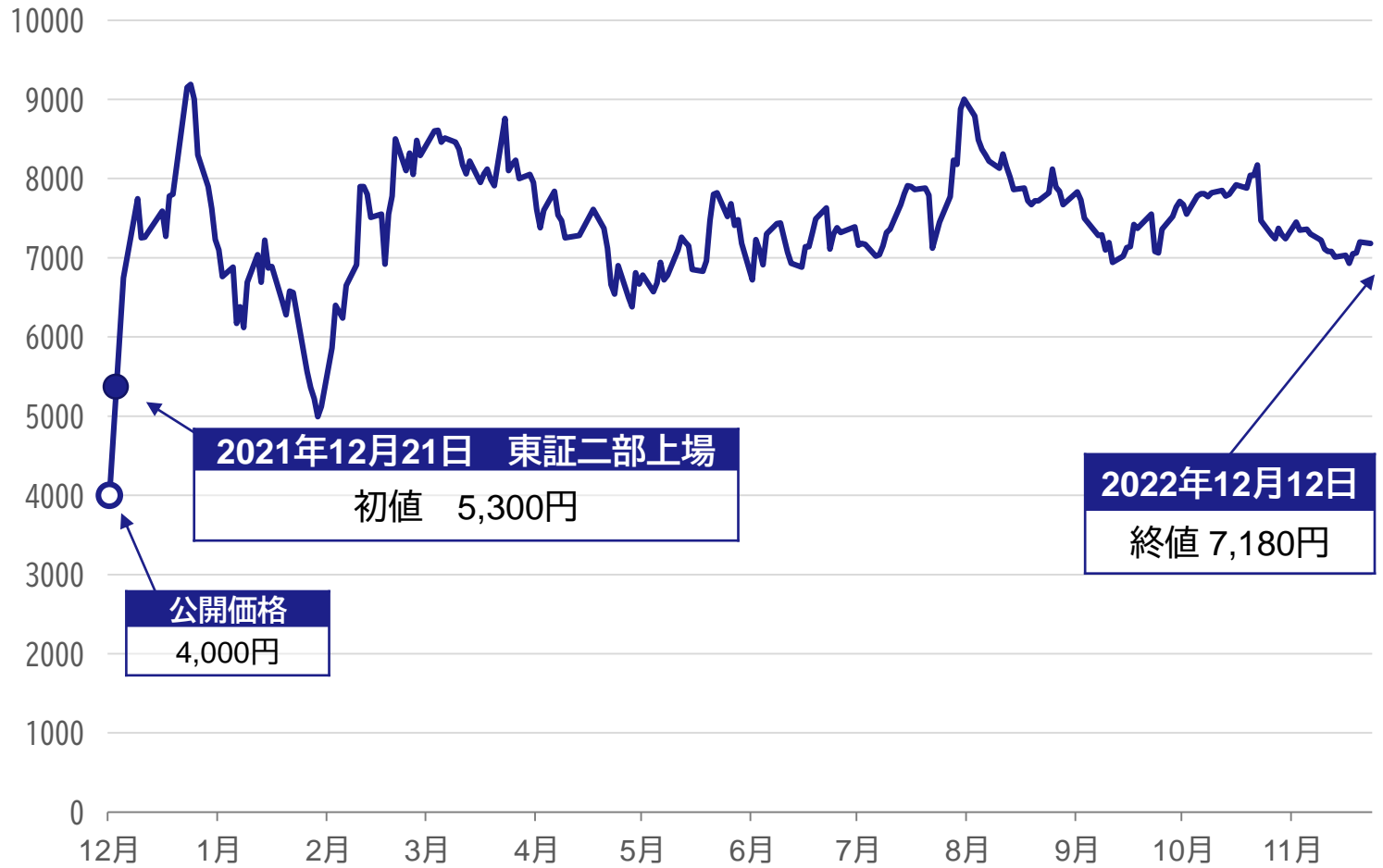
※ 参考値 21.12期 配当性向=16.4%
(配当金支払総額÷当期純利益×100)

株価推移

株価 **7,180円**

2022年12月12日 終値

市場	東証スタンダード
証券コード	6524
最低投資金額	71.8万円
時価総額	646億円
1株配当 (22.12期予定)	50円
予想配当利回り	0.7%
予想PER	20.93倍
実績PBR	3.46倍



- ✓ グローバルに展開する、滋賀県発のデバイスメーカー
- ✓ 自動車とネットワーク機器、海底ケーブルに欠かせない製品群を手掛ける
- ✓ 高付加価値品に特化し、高い競争力により世界トップシェアを確立
- ✓ 直近21.12期は過去最高決算、電子部品業界の平均を上回る利益率を誇る
- ✓ 市場環境はEVとメタバースによる大きな追い風を受けて、高成長を目指す

Ⅱ. ニュース&トピックス

各セグメントにおける堅調な需要を見込み、10.4%の増収、4.5%の営業増益を予想

(単位：百万円)

	2021.12期	2022.12期		2022.12期			
	3Q累計	3Q累計	前年同期比	1Q (1月-3月)	2Q (4月-6月)	3Q (7月-9月)	直前四半期比
売上高	10,669	11,901	+1,232 +11.6%	3,954	4,004	3,943	△61 △1.5%
リード端子事業	5,471	6,312	+841 +15.4%	2,052	2,151	2,107	△44 △2.0%
光部品・デバイス事業	5,197	5,589	+392 +7.5%	1,901	1,852	1,835	△17 △0.9%
営業利益	3,191	3,115	△76 △2.4%	1,062	979	1,072	+93 +9.5%
営業利益率	29.9%	26.2%	△3.7pt	26.9%	24.5%	27.2%	+2.7pt
経常利益	3,391	4,088	+697 +20.6%	1,299	1,432	1,356	△76 △5.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,221	2,693	+472 +21.2%	886	930	875	△55 △5.9%
為替レート (期中平均)	108.58円/\$	128.30円/\$		116.34円/\$	129.73円/\$	138.28円/\$	

※百万円未満切り捨て

● 通期業績予想

- 各事業の成長ドライバーの市場トレンドに変化はないものの、マクロ経済・為替・非鉄金属市場動向等の外部環境の先行きが不透明であること等を総合的に勘案し、想定為替レートや通期業績予想を据え置く

各セグメントにおける堅調な需要を見込み、10.4%の増収、4.5%の営業増益を予想

● マクロ環境

- ・インフレ抑制を目的とした主要国の金融引き締めが続いており、円安が全方位的に加速
- ・中国のゼロコロナ都市封鎖やロシア紛争により、製造業を取り巻くサプライチェーン混乱が継続
- ・米中貿易摩擦に端を発した半導体不足等による自動車減産が長期化する等、景気後退への懸念が浮上

● 事業環境

- ・EV化が牽引する車載や産業機器市場は概ね順調も、情報通信や民生機器市場は急速に悪化
- ・当期前半の高騰が収益を圧迫したアルミ等の主材料相場は、4月以降下落局面が続く
- ・海底光通信インフラにもサプライチェーン混乱の余波により一時的な調整局面に入った
- ・スリランカ政治経済の混乱も徐々に沈静化の気配、計画通りの操業を継続
- ・当社の成長ドライバーとなる「EV化」・「通信トラフィック増大」といった中長期トレンドには変化なし

● 業績(3Q累計)

- ・売上高は円安や価格転嫁が追い風となり、前年同期比11.6%(+1,232百万円)の増収
- ・当期純利益については、同21.2%(+472百万円)の増益

2022年12月期 通期業績の見通し



各セグメントにおける堅調な需要を見込み、10.4%の増収、4.5%の営業増益を予想

(単位：百万円)

	2021年12月期 実績	2022年12月期（期初計画）		
		通期予想	対前期増減	前期比
売上高	14,620	16,144	+1,524	110.4%
営業利益	4,126	4,311	+185	104.5%
営業利益率	28.2%	26.7%	-1.5pt	—
経常利益	4,363	4,254	-109	97.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,960	3,034	+74	102.5%
1株当たり当期純利益（円）	406.72	343.61	<為替感応度> 売上高100百万円/円 営業利益30百万円/円	
為替レート（期中平均）	109円/\$	115円/\$		

※百万円未満切り捨て

●業績予想の根拠

- ・リード端子事業：EV化は進展するも、生産台数の回復には時間を要するものと想定
- ・光部品・デバイス事業：海底ケーブルの堅調な市場拡大を想定
- ・両事業ともに市場トレンドに変化はないものの、外部環境（アジア経済、為替・非鉄金属相場等）が不透明であるため、想定為替レートや通期業績予想は据え置き

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、様々な条件・要素によりこの計画や予想数値とは異なる結果になることがあります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

湖北工業株式会社 IR担当E-mail

ir@kohokukogyo.co.jp

TEL 0749(85)3211 FAX 0749(85)3217

The background features a complex, abstract pattern of glowing white and light blue particles and lines. These elements form a series of overlapping, wavy, and curved shapes that create a sense of depth and movement, resembling a digital or scientific visualization. The overall color palette is monochromatic, consisting of various shades of gray, white, and light blue.

Appendix

スリランカ政治・経済危機の影響

- ✓デフォルトにより事実上の財政破綻
- ✓政権交代、ハイパーインフレ、電力不足が発生
- ✓IMFに金融支援を要請
- ✓当社の生産・出荷にほぼ影響なし



上海ロックダウンの影響

- ✓コロナ禍の移動制限措置により物流が停滞
- ✓主要顧客(コンデンサメーカー)の工場において材料調達や労働力確保等が進まず稼働率が低下
- ✓当社の受注や出荷に徐々に影響



SDGsを私たちの企業活動につなげ、社会的課題の解決と経済成長の両立によって、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

E

- 太陽光発電の導入、再生可能エネルギー由来電力購入



- 湿原（山門水源の森）の保全活動への支援

- 「しが生物多様性取組認証制度」における最高評価（3つ星）を認証



S

- 農業高校への奨学金プログラムによる支援



G

- コンプライアンス教育・研修の強化



用語	説明
異種金属溶接	2つの異なる金属を接合する技術。熱伝導率が大きく異なる金属同士の接合は一般的に困難とされている。
ノーバリ化	切削時に発生する縁の突起を解消する技術。 アルミ電解コンデンサの内部破損削減に貢献する。
耐振構造リブ	リード端子に耐振構造を施す技術。 自動車など振動が激しい環境でのリード端子の破断を抑制する。
アルカリ洗浄	リード端子の製造工程において発生する汚れを洗浄する技術。
酸化絶縁被膜	アルミ部分に酸化皮膜を施す技術。 コンデンサ充電後に発生する不都合な漏れ電流を抑制する。
丸目加工	リード端子の先端を丸く加工する技術。リード端子搬送時に鋭利な先端の接触による破損を防止する。

用語	説明
光中継機	海底ケーブルの数十キロごとに配置されている、減衰した光を増幅する装置。
光アイソレータ	光中継機の中に配置される部品。 光を一方向からのみ通し、逆方向からの光を遮断する機能をもつ。
ファイバペア	海底ケーブル内を通る光の経路は上りと下りがあり、上りのファイバ1本と下りのファイバ1本で1つのファイバペアと呼ぶ。
多芯化	海底ケーブルに収容されるファイバの数を増やすための技術。 多芯化が進むほど通信容量を増大することができる。
マルチコアファイバ	従来1ファイバ1本であった光の経路を増やすための技術。 通信容量のさらなる増大が期待され、実用化に向け研究が進んでいる。